令和元年度第7回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

令和元年度第7回定例松本市教育委員会会議録

令和元年度第7回定例松本市教育委員会が令和元年10月24日午後3時00分教育委員室に招集された。

令和元年10月24日（木）

議 事 日 程

令和元年10月24日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 松本市教育委員会事務委任、専決、代決規則の一部改正について

第2号 松本市社会教育委員の委嘱について

第3号 史跡弘法山古墳調査委員会の設置及び委員の委嘱について

[報告]

第1号 松本市あがたの森文化会館管理運営委員会委員の委嘱について

第2号 松本城東総堀の石垣崩落について

第3号 国宝旧開智学校校舎塔屋漆喰壁の剥落について

第4号 第1回松本市立博物館 博物館まつりの開催結果について

第5号 「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の分析と考察」について

第6号 山・川・海をつなぐ環境教育推進協議会の設置について

[周知]

1 宇宙関連事業 講演会の開催について

2 食物アレルギー講演会の開催について

3 松本市立博物館講演会及び分館企画展の開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江
〃	橋 本 要 人

〔出席職員〕

教 育 部 長	山 内 亮
こ ど も 部 長	村 山 修
教 育 政 策 課 長	小 林 伸 一
教育文化センター所長	加 藤 政 彦
学 校 教 育 課 長	逸 見 和 行
学 校 指 導 課 長	高 野 毅
学 校 給 食 課 長	清 澤 秀 幸
生涯学習課長 兼 中央公民館長	栗 田 正 和
生涯学習課 施設整備担当課長	丸 山 丈 晴
中 央 図 書 館 長	瀧 澤 裕 子
文 化 財 課 長	大 竹 永 明
文 化 財 課 課 長 (西部4地区担当)	臼 井 邦 彦
松本城管理事務所長	手 島 学
松本城管理事務所 城郭整備担当課長	原 文 彦
美 術 館 副 館 長	小 口 一 夫
博 物 館 長	木 下 守
基幹博物館建設担当課長	中 原 和 彦

〔事務局〕

教育政策課

教育政策担当係長

金 井 稔

教育政策担当係長

三 村 恵 美

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は令和元年度第7回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 まず、台風19号により長野県内でも大きな被害がありました。このたび被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしたいと思います。松本市からも支援のために職員を派遣しているわけです。長期にわたるといふことで、既に長野市へ行ってきたという職員もいますが、今後派遣される職員については、くれぐれも安全の確保や体調管理をお願いしたいと思います。そして、支援に行ってきたその経験をぜひ職場で共有したり、今後の松本市の対策に生きるようにと思っています。

信州の地は水害との闘いの地でした。私が現役のころ勤めていました下伊那の遠山郷というところは、本当に水害との闘いの地でした。私が赴任していた遠山中学校は、遠山川の川沿いにありましたが、以前、大水害で学校が流されてしまって、現在の地に建て替えられたという歴史を持っていると赴任したときにお聞きしました。今でも、学校の裏を遠山川が流れていますが、大雨のときには濁流とともに岩が流れて、そのぶつかる音が地響きのように聞こえてきて、その恐ろしさは本当にすごいもので、自然の力というかエネルギーのすごさを感じてきました。

いずれにしても、まずは自分の命を守ることが最優先でありますので、これから子どもたちや学校を守る、そして市民の皆さんの命を守るということで、本当に真剣にもう一度自分たちの施設も含めて非常時の対応を考えていかななくてはならないと思っていますので、また、各部署それぞれで見直し、検討等をしていただけたらと思います。

それでは、3分間スピーチですが、今日は小林教育政策課長です。よろしくお祈りします。

小林教育政策課長 「俳句について」3分間スピーチ。

教育長 ありがとうございます。次回は山内部長です。よろしくお祈りします。

《会議録の承認》

教育長 それでは、令和元年度第5回の定例教育委員会の会議録についてはよろしいでしょうか。

全教育委員 結構です。

《署名員の指名》

教育長 本日の会議録署名委員は市川委員、福島委員です。

《議案審議》

教育長 本日の案件は議案が3件、報告事項6件、周知事項が3件です。

<議案第1号> 松本市教育委員会事務委任、専決、代決規則の一部改正について

教育政策課長 議案第1号「松本市教育委員会事務委任、専決、代決規則の一部改正について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

橋本委員 異議なし。

教育長 異議なしというご発言もありましたので、議案第1号につきましては承認することとします。

<議案第2号> 松本市社会教育委員の委嘱について

教育政策課長 議案第2号「松本市社会教育委員の委嘱について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

それでは、特にご発言がありませんので、議案第2号については承認することとします。

<議案第3号> 史跡弘法山古墳調査委員会の設置及び委員の委嘱について

文化財課長 議案第3号「史跡弘法山古墳調査委員会の設置及び委員の委嘱について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

教育長 よろしいでしょうか。特にご発言が無いようですので、議案第3号については承認することとします。

<報告第1号> 松本市あがたの森文化会館管理運営委員会委員の委嘱について

生涯学習課施設整備担当課長 報告第1号「松本市あがたの森文化会館管理運営委員会委員の委嘱について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。特にご発言が無いようですので、報告第1号についても承認することとします。

<報告第2号> 松本城東総堀の石垣崩落について

松本城管理事務所城郭整備担当課長 報告第2号「松本城東総堀の石垣崩落について」説明
教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

市川委員 この崩れ方は、基礎崩壊ですね。杭基礎でやっているのが、昔の古い石積みのところは基礎がだいぶ疲れてきていると思いますね。この落ち方は、動き出すと大変なことですね。

教育長 それでは、指示を受けながら修理をしていくということで、報告第2号については承認することとします。

<報告第3号> 国宝旧開智学校校舎塔屋漆喰壁の剥落について

博物館長 報告第3号「国宝旧開智学校校舎塔屋漆喰壁の剥落について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

それでは、国宝になって注目度が上がっていますので、ぜひ修理をしっかりとさせていただくということで、報告第3号については承認することとします。

<報告第4号> 第1回松本市立博物館 博物館まつりの開催結果について

博物館長 報告第4号「第1回松本市立博物館 博物館まつりの開催結果について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。はい、福島委員。

福島委員 もし分かれば、来場者950名の大体の年代を教えてください。通常、普通の日や土曜日でもいいですが、来館者は平均どのくらいなのか教えてください。

博物館長 入館者の年齢層のことですが、今回あまり細かくデータは取ってはいないので、大人と子どもというような取り方ですが、子どもさんが1割にも満たないような状況ではございました。また、お尋ねの範疇から超えますが、時節柄、

市民以外の方と言いますか、観光客の方も多かったかなと感じております。

また、通常の土曜日の観覧者ということですが、昨年の数字をしっかりと持っていないといけないのですが、実は、朝、天気が悪かったのも、普通の無料開放をしない日よりも少ない人数だという認識をしております。秋の土曜日、日曜日の観覧者は、千何百人ということが多かったので、少なかったと認識をしております。

福島委員 ありがとうございます。

教育長 他にございますか。それでは、特にご発言が無いようですので、報告第4号については承認することとします。

<報告第5号> 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の分析と考察

学校指導課長 報告第5号「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の分析と考察」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。市川委員。

市川委員 全国とほぼ同程度というような表現がありました。評価するときの基準とこのようなものはありますか。全国平均を見て判断しているということですか。

学校指導課長 全国平均、県平均等も含めながら判断はしておりますが、大事になるのは、そういう県平均と比べてというよりは、その学校の中で昨年と比べてどういう状況であったかとか、授業の進め方とあわせてどう考えるかとか、そここのところになってくるかと思えます。行ってほしいことは、授業改善でございます。

教育長 毎年母集団が違うので、比較が非常に難しいです。6年生の母集団が中学3年生に行ったときは、同じ母集団になるので、比較が可能ですが、なかなか、そこが難しいところです。ただ、大きくその学校の傾向性等の把握はできるといことですね。松本市の傾向性も分かります。

橋本委員、どうぞ。

橋本委員 公表するときに、平均という概念は非常に分かりやすく説明がしやすいのですが、学習状況の調査をやって、次の教育方針をどうするかという、次のアクションにつながっていく調査だということになると、それぞれの個別の学校における分散がどうなっているのかも重要だと思います。要するに、全問題数のうち8割を超える正答があった児童数が全国と比べてやや高いということに

なると、裏を返せば、極端に低い人がいるから全国平均値並みになるわけですよ。個別の学校ごとに違うと思うのですが、その分散を踏まえて、次の教育方針をどうしていくのかということがとても重要だと思います。

学校指導課長 平均分布になる学校もあれば、私が経験したところではフタコブラクダ型で、上の子どももいるけれど下の子どももいる。10問のうち1問もやっというような状況もあるときには、下の子どもをどう救い上げていくのかというところも大事になってきます。

教育長 橋本委員の指摘のようなことを各学校でも公表していくわけですね。

学校指導課長 各学校においては12月末までに、保護者懇談会にあわせて分析、公表していきます。

教育長 各学校でまた分析を加え、特にその学校の分散や傾向性や特徴等も踏まえて、授業改善ですとか、方向をより具体的に学校は出していくということですね。

学校指導課長 はい。

教育長 最終的には個人に帰するということですね。

学校指導課長 はい。

教育長 個票も加えて、個人懇談等で生かしていくということですね。

学校指導課長 はい。

教育長 他に、よろしいですか。山田委員。

山田委員 質問ですが、21ページの質問紙の結果の中の、「地域社会とのつながり」というのは、昨年度も地域の行事に子どもたちは意欲的にたくさん参加しているという、傾向としてはいい傾向だったと思うのですが、例えば「先生との関わり」というので、今年のほうが去年よりもさらによく教えてくれるという児童が多いと出たのですが、例えばこの質問紙の中で、昨年度とここ3年間ぐらいとあまり変わらなかったとか、むしろ数値的に課題が残ったというような質問内容というのは無かったのでしょうか。

学校指導課長 そこまで把握できておりませんので、また調べたうえでお答えいたします。

山田委員 分かりました。

教育長 それは、例えば9ページの自己肯定感に関する状況の質問が昨年は中学校はすごくよかったけれど、逆に今年は一昨年並みに戻っているというのは、毎年母集団の違うばらつきのようなことがこういうところに出てくるのかなと思います。

ます。

山田委員　もしそうだとすると、昨年と比べてここに出ているのが、全体的に昨年よりよくなったというのが多いような気がするのですが、本当はよくなかったというの
もあっていい、あっていいと言ったら変ですが、あるのが普通かなと思うのと、
母集団が違うので一概に言えないと思いますし、この結果に右往左往するのは
まずいと思いますが、見ていると何となくみんなよい方向に行っていますよと
いう感じがしたのでお聞きしました。

教育長　22ページの総括の下から4行目の一方というところを読むと、5年間少し
ずつ低くなってきているというような、そういう部分も記載されているので、
活字離れのことなど、特徴的なことを挙げているということですね。

学校指導課長　はい。当然、各学校においてはこの質問紙の内容は昨年と比較する同じ質問
であれば、教員との関わりがどうなのか等ははっきりさせなくてはと思います。

市川委員　10人が10人、先生がよくやってくれているというのが教育としては一番
いいと思いますが、8割ぐらいというのは、子どもたちが満足していると考え
ればいいですか。

学校指導課長　満足といたしますか。

市川委員　教えるほうにしてみても、どうですか。

学校指導課長　教員がそこに満足感を覚えてしまってもいけないと思うのですが、関わった
結果を子どもが評価してくれるとは思いますが、その関わり方と関わり過ぎ
がどうなのかということもあります。丁寧に指導するということは大事なこと
ではありますが、それだけでは授業は成り立たないということもあります。

教育長　例えば24ページの朝食をとる習慣と正答率というのがありますが、去年は
朝食を取るのが過去最低だったので、今年は少し回復したということです。せ
っかくこれだけの調査をして、分析したので、ぜひこれを生かしていくという
ことが大事になるので、こういうデータをPTAですとか関連するところにも
提供して、福祉の関係や子どもの貧困のようなことも関連することがあるので、
こども部や健康福祉部で活用できる場所はぜひ活用していただいて、啓発等
に利用していただくというようなこともぜひ検討していただきたいと思います。
これはあくまでも概要なので、もしかしたら必要なデータはこれ以外にもある
かもしれないので、生かしていくことが大事かなと思います。こども部長にも、

こういうデータはないのかとか、こういうものが欲しいということ、また必要に応じて言っていただきたいと思います。

教育長 それでは、10月末に公表するというので、報告第5号については承認をすることとします。

<報告第6号> 山・川・海をつなぐ環境教育推進協議会の設置について

教育政策課長 報告第6号「山・川・海をつなぐ環境教育推進協議会の設置について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。福島委員。

福島委員 協議会は予定としては大体どのぐらい開く予定でいらっしゃるのか、また、委員名簿に30人ほど書いてありますが、30人全員で協議会を開くことを想定されているのかということをお願いします。

教育政策課長 協議会の開催の予定でございますが、11月に第1回を開いて、その後、研修を含めたものを今のところ今年度中に2回を予定しております、年度末に全体の報告等があると思いますので、今年度は合計3回になるのではないかなと考えております。次年度以降につきましては、開催予定ではありますが、計画の中ではないということでございます。

それから、メンバーにつきましては、全員が集まることは難しいと思いますので、学校関係者については校長先生か担当の先生どちらかになるべく出席をしていただいて開催をしていきたいということで考えております。

教育長 よろしいでしょうか。報告第6号については承認することとします。

<周知事項1> 宇宙関連事業 講演会の開催について

<周知事項2> 食物アレルギー講演会の開催について

<周知事項3> 松本市立博物館講演会及び分館企画展の開催について

教育長 それでは、予定されていた案件はこれで終了します。事務局からお願いします。

事務局 11月14日は教育委員研究会、21日は、3時から定例教育委員会、場所は城北公民館で、引き続き7時から城北地区の皆さん語る会、28日は、第一応接室で、第2回総合教育会議となりますので、よろしく願いいたします。

教育長 それでは、よろしいでしょうか。
 それでは、以上で第7回定例教育委員会を終了といたします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、令和元年度第7回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

＜午後4時5分閉会＞

会議録調製職員 教育政策課教育政策担当係長 三村 恵美

会 議 録 署 名 委 員

市川 莊一

福島 智子